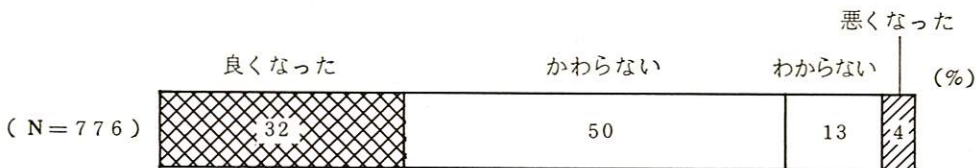


9. ま ち づ く り

9-1 福 生 市 の 景 観

Q15. あなたは、福生市の街全体からうける印象は2、3年前と比べて良くなりましたか。それとも悪くなりましたか。

図9-1. 福 生 市 の 景 観



2、3年前と比較した福生市の街全体からうける印象については32%が「良くなった」と答えている。「かわらない」は50%、「悪くなった」はわずか4%であった。

地域別にみると、Bブロックで「良くなった」との回答が44%と最も多く、Dブロック(39%)も高い。就業・通学地別では市内で働いている(通学している)人の方に「良くなった」との回答が多い。

居住開始時期別では、早い時期に居住を開始した人に「良くなった」との回答が多く、昭和29年以前から居住している人は50%が「良くなった」と答えており、昭和60年以降に居住した人は12%に過ぎない。しかし、昭和60年以降に居住した人は居住年数が短いために、判断材料が少なく、従って、「わからない」の回答が45%と高くなっている。

図9-2. 福生市の景観 (地 域 別)

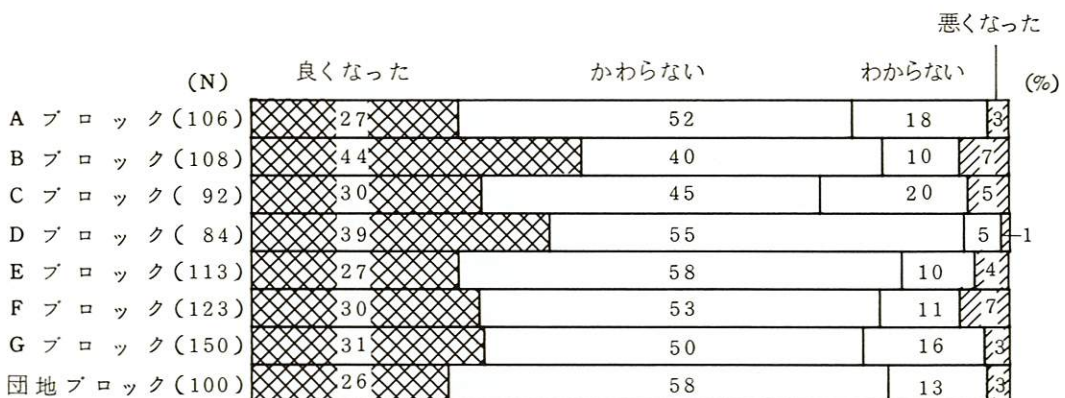


図 9-3. 福生市の景観（就業・通学地別）

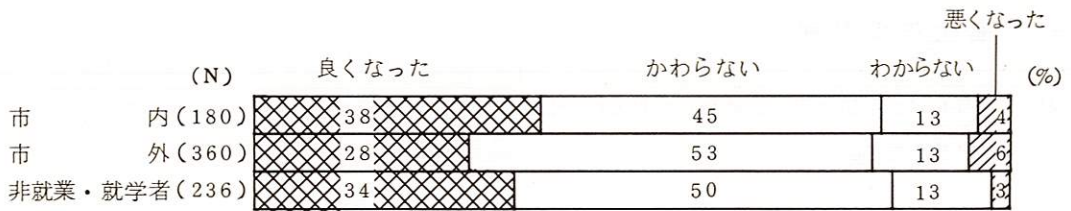
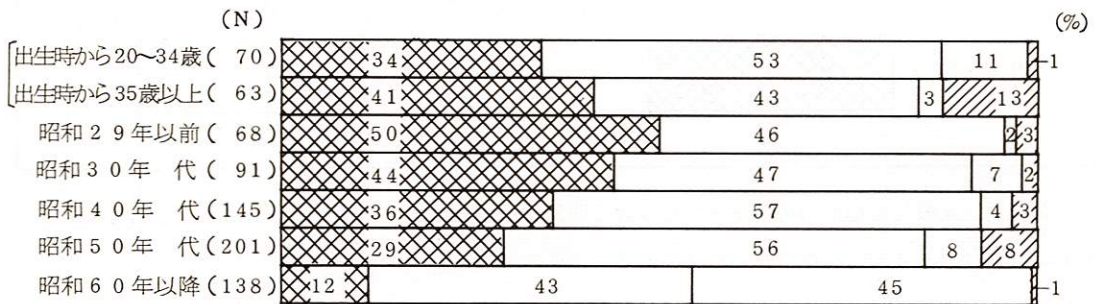


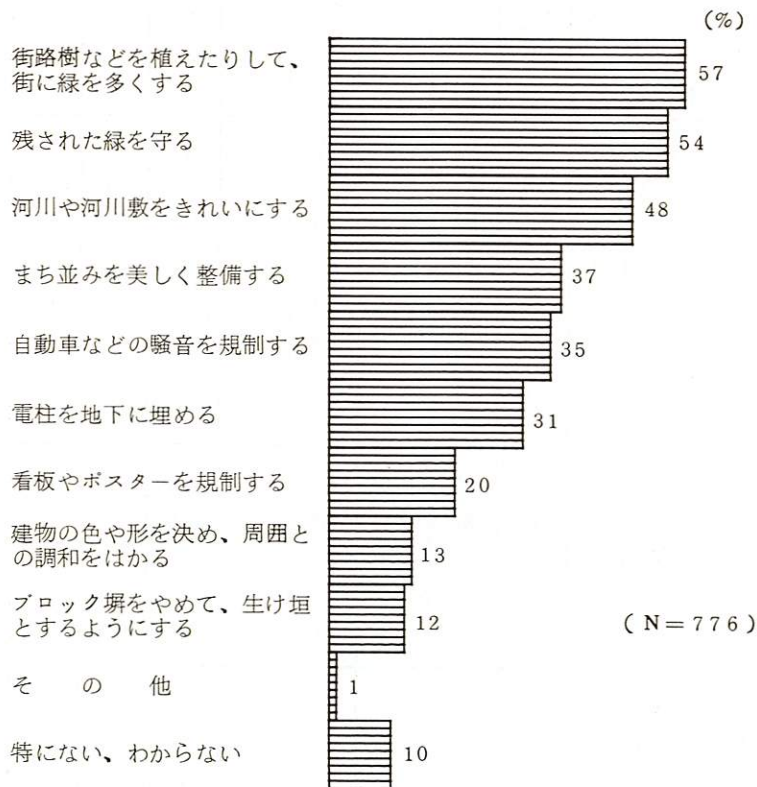
図 9-4. "（居住開始時期別）



9-2 美しい、住みよい「まち」づくり

Q16. 「カード」 あなたのお住いの「まち」を美しい「まち」、住みよい「まち」にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

図9-5. 美しい、住みよい「まち」づくり



美しい、住みよい「まち」づくりに必要なことの第1位は、「街路樹などを植えたりして、街に緑を多くする」(57%)であった。次いで、「残された緑を守る」54%、「河川や河川敷をきれいにする」48%、「まち並みを美しく整備する」37%、「自動車などの騒音を規制する」35%と続いている。

地域別にみると、Cブロックでは、「自動車などの騒音を規制する」(52%)、「河川や河川敷をきれいにする」(60%)が、Eブロックでは、「電柱を地下に埋める」(48%)がそれぞれ他のブロックより高くなっていることが特徴としてあげられる。

生活環境の総合評価別では住みにくと感じる人にそれぞれの項目に対する回答率の合計が多く、つまり、まちづくりに強い要望を持っていることがわかる。また、福生市の景観別でも、「悪くなった」と答えた人に回答率の合計が最も多く、よりよいまちづくりを望んでいることがわかる。

表9-1. 美しい、住みよい「まち」づくり

(地域別)(生活環境の総合評価別)(福生市の景観別)

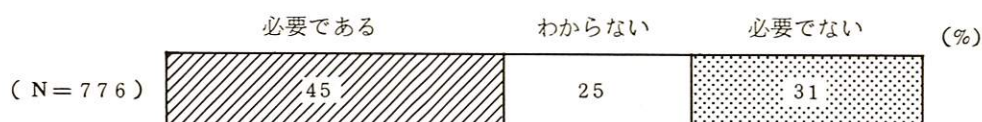
(%)

	建物と調和等をはか る	看板規制する ポスターを	街路に緑を多くす る	プロ ック、生 け垣とす める	電 柱を地下に埋 め	まち 整備する 並みを美しく	自 動車を規制する などの騒音	河 れいに する 敷をき	残 された緑を守る	そ の 他	特 にない、わ から
N=776	13	20	57	12	31	37	35	48	54	1	10
A ブ ロ ッ ク (106)	13	15	44	9	17	21	30	34	42	—	30
B ブ ロ ッ ク (108)	13	27	50	8	32	33	30	44	46	2	16
C ブ ロ ッ ク (92)	7	20	64	11	32	36	52	60	58	2	3
D ブ ロ ッ ク (84)	14	18	48	14	27	38	35	46	49	1	8
E ブ ロ ッ ク (113)	12	18	57	11	48	43	35	47	57	1	4
F ブ ロ ッ ク (123)	16	19	63	18	32	42	31	47	69	1	5
G ブ ロ ッ ク (150)	15	23	65	13	29	43	37	57	63	1	5
団地ブロック(100)	15	15	59	8	30	28	44	54	60	2	8
非常に住み良い (64)	11	17	56	11	28	34	28	50	55	—	14
まあ住み良い (388)	13	20	55	13	31	38	34	47	53	1	11
普 通 (250)	13	20	60	10	31	37	36	49	54	1	9
やや住みにくい (64)	19	25	53	16	36	34	44	52	59	3	5
非常に住みにくい (10)	—	10	50	20	30	20	60	30	50	—	10
良 くな った (251)	17	26	57	16	38	39	37	52	54	1	7
か わ ら な い (391)	12	17	56	11	28	36	36	47	53	1	10
悪 くな った (34)	18	18	65	24	32	41	56	59	62	3	—
わ か ら な い (100)	8	16	55	3	26	32	22	43	53	2	20

9-3 自主的なルールづくりの必要性

Q17. 住みよい環境を保つために、建物の色や形などを決めたり、高さを制限するなどのルールをそこにお住まいの方々に自主的に作ることができます。あなたは、このような自主的なルールを作ることが必要だと思いますか。それとも必要ないと思いますか。

図 9-6. 自主的なルールづくりの必要性



住みよい環境を保つために、建物の色や形などを決めたり、高さを制限するなどのルールを住民で自主的に作ることが、必要であるか、ないかを聞いた結果、「必要である」と答えた人は45%で、「必要でない」と答えた人31%を上回っている。

地域別では、Gブロックに「必要である」が53%と最も多く、また集合住宅の団地ブロックも52%と多くなっており、また、住居形態別でも集合住宅である分譲マンションやアパートに「必要である」が多くなっている。定着パターン別では、流動型、分解型に「必要でない」と答えた人が多く、これは地域社会にあまり関心を持たないためであろう。また、福生市の景観別では、「悪くなった」と答えた人に「必要である」との回答が多くなっている。

図 9-7. 自主的なルールづくりの必要性 (地域別)



図9-8. 自主的なルールづくりの必要性（住居形態別）

	(N)	必要である	わからない	必要でない	(%)
持家	1戸建て(374)	43	25	32	
	分譲マンション(31)	52	19	29	
借家	1戸建て(96)	44	29	27	
	公団・公営住宅(141)	44	28	28	
	アパート(119)	48	20	32	

図9-9. "（定着パターン別）

	(N)			(%)
定着型(387)	45	26	28	
定着志向型(277)	47	20	33	
流動型(27)	41	19	41	
分解型(45)	42	18	40	

図9-10. "（福生市の景観別）

	(N)			(%)
良くなった(251)	50	18	33	
かわらない(391)	43	26	31	
悪くなった(34)	59	15	27	